

氏名：常葉 竣

所属：静岡県立大学 食品栄養科学部 環境生命科学科 4年

出身：静岡市 清水区

趣味：散歩、サッカー&プロレス鑑賞

研究について



アブラヤシの樹木

### マレーシアのアブラヤシ農園に関する研究

アブラヤシはヤシ科に分類され、西アフリカや東南アジアの熱帯雨林地帯で栽培されています。アブラヤシの果実からパーム油という植物油脂が採取され、食品や化粧品など幅広く利用されています。アブラヤシ農園は近年、世界的に規模が急速に拡大しており、特にマレーシアは作付面積が100万haを超えます。

一方で、アブラヤシはイソプレンを大量に放出します。イソプレンは大気中の揮発性有機化合物（VOC）の1/3を占め、スモッグやオゾン生成を促進させます。ヒトには一定量で咽頭や眼に軽度の刺激を与え、発がん性の可能性もあります。

マレーシアで生育されるアブラヤシのプランテーション林から放出されるイソプレンの測定と環境要因の影響、およびイソプレン放出速度の少ないアブラヤシの系統比較を9月頃の実験していく予定です。

イソプレンの測定には、昨年本研究室で開発したバイアルを用いた簡易スクリーニング法を用います。今年になって、測定で複数同時にガス採取するために「一斉ガス採取装置」を作成しました。

現在は測定方法および装置の確認を目的とした、静岡県東部の御前崎～掛川の海岸沿いで生育されるウバメガシのモノテルペン放出速度の測定実験を進めています。



スクリーニング装置



ウバメガシ